

1 甲南英文学会 20 周年記念大会(2003 年度(第 19 回)甲南英文学会定期総会・研究発表)について

去る 2003 年 3 月 29 日、甲南英文学会役員会が開かれ、甲南英文学会 20 周年記念大会(2003 年度(第 19 回)甲南英文学会定期総会・研究発表)は 7 月 5 日(土)に開催されることが決定しました。20 周年記念事業の一環として、当日は鷺田清一氏(大阪大学教授)をお招きし、「人を分けるということ」(仮)というタイトルで講演をお願いすることとなりました。

<鷺田清一氏のプロフィール>

1949 年京都府生まれ。現在、大阪大学文学部教授。哲学をベースに身体、他者、所有、規範、制度などの問題を論じてきたが、近年は<顔>論、モード論の独自の研究領域を開くとともに、現在は哲学の発想を社会が抱え込んだ諸問題へとつないでいく臨床哲学のプロジェクトと取り組んでいる。主な著作は、『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫)、伊現象学の視線』(講談社学術文庫)、『じぶん・この不思議な存在』(講談社現代新書)、『ちぐはぐな身体』(ちくまプリマーブックス)、雷だれのための仕事』(岩波書店)、『「聴く」ことの力』(TBS プリタニカ)、『めいわくかけて、ありがとう』(講談社、近刊)など多数。現代思想の冒険者たち(講談社、全 31 巻)編集委員。サントリー学芸賞受賞(1989 年)

それに引き続き、「表象としての有色人種」(仮)というタイトルで、シンポジウムを開催いたします。

パネリスト 鷺田清一氏(大阪大学)
松村昌家氏(大手前大学)
青山義孝氏(甲南大学)
入子文子氏(関西大学)
司会進行 井野瀬久美恵氏(甲南大学)

詳細については追って連絡いたします。奮ってご参加ください。

2 20 周年記念論文集について上記の記念講演及びシンポジウムを開催することに伴い、

『甲南英文学』No.19(2004 年度発行)を、「表象としての有色人種」(仮)ということを中心にテーマとした記念特集号とすることが決まりました。つきましては、このテーマに関連する論文を会員の皆様から募りたいと存じますので、準備方々よろしくお願いたします。もちろん、これと平行して、一般研究論文も掲載されます。いずれの場合も、論文投稿の締切は本年 11 月末となります。

3 大会準備委員会より

研究発表会の発表希望者を募集します。ご希望の方は、発表要旨を A4 判で 1200 字程度にまとめたものを 3 部コピーし、フロッピーディスクをそえて事務局内福島彰利宛にご提出ください。締切は、5 月 10 日です。ご提出の際、応募規定をお守りくださいますようお願いいたします。

なお、今年の変則的な時間割りになりますが、研究発表会は 12 時～1 時 30 分になります。応募者多数の場合は発表者数を制限させていただく場合がございますのでご了承ください。

4 住所、所属等の変更について

新年度にあたり、住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。